



宇宙産業開発で、日本の経済成長を!

昨年4月より消費税が8%に引き上げされ、さらに2017年には10%へ増税される見込みです。

私は、「増税されても価格に転嫁できず、会社の存続が厳しくなる」という中小企業の切実な声に数多く接しています。今、日本経済にとって必要なのは、増税ではなく経済成長ではないでしょうか。

私たち幸福実現党は、経済成長のために、宇宙産業など未来産業を育成すべきだと考えます。新たな富を生み出し、景気や雇用をとことん良くして税収アップを図ることは、この国の財政健全化への近道でもあると考えます。



幸福実現党 党首 **積 量子**

1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。大手家庭紙メーカー勤務を経て、1994年、宗教法人幸福の科学に入局。常務理事などを歴任。幸福実現党に入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。

党員募集 幸福実現党にあなたも参加しませんか

入党資格 ①幸福実現党の理念と綱領、政策に賛同される方②満18歳以上の方

○党費は年間5,000円です。○資格期間は党費を入金された日から1年間です。○党員には機関紙「幸福実現NEWS」(月1回発行)が送付されます。



幸福実現党

入党希望メールアドレス kofuku@hr-party.jp 公式ホームページ hr-party.jp

発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8
電話 03-6441-0754 ©幸福実現党本部 2015年

この地球は、宇宙に必要なか?

あなたを待ち受ける、衝撃の宇宙体験。ベガ、プレアデス、ダークサイド・ムーン。ついに、地球人は「宇宙人の秘密」を目撃する!

大川隆法 製作総指揮
長編アニメーション映画

UFO学園の秘密
The Laws of The Universe Part 0

10月10日、全国一斉ロードショー!

製作総指揮・原案/大川隆法
監督/今掛勇 脚本/「UFO学園の秘密」シナリオプロジェクト 音楽/水澤有一 総合プロデューサー/本地川隆祥 松本弘司 総作画監督・キャラクターデザイン/今掛勇
キャラクターデザイン/佐藤隆 須田正己 美術監督/渋谷幸弘 VFXクリエイティブディレクター/栗屋友美子 キャスト/逢坂良太 瀬戸麻沙美 柿原徹也 金元寿子 羽野野紗 須川大輔
アニメーション制作/H5 PICTURES STUDIO 幸福の科学出版作品 ©2015 IRH Press 配給/日活 配給協力/東京テアトル

幸福実現党は、映画「UFO学園の秘密」を応援しています!

この国に、もっと自由を。幸福実現党



宇宙産業で 新たな富の 創出を!



幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS September 2015 Vol.71

航空宇宙産業を、 日本の**未来産業**に！

戦前、日本は世界有数の航空技術を持っており、「零戦」「隼」などの航空機は連合国にとって脅威とされました。

そのため、戦後、GHQは日本の航空機産業に関して、生産から研究にわたる一切の活動を強制的に停止。これによって、日本の航空機産業は大きく後れを取る事となりました。

航空機産業は、我が国の独立回復後の1952年、ようやく解禁されますが、現在、わが国は、航空機製造をほぼ欧米に独占されており、日本独自の有人宇宙飛行にも成功していません。

また、宇宙開発行政においては、研究開発に軸足を置き過ぎたためにロケット・衛星の商用化が進まず、宇宙開発予算においてはアメリカの1/10以下、欧州の約1/3という小規模予算によって進展が遅れているという問題も抱えています。

日本は、小惑星「イトカワ」の地表サンプルを採取に成功した探査機「はやぶさ」など世界に冠たる技術を持っているので、**高い技術を生かし、航空宇宙産業を、日本の未来産業として発展させていくべきなのです。**

国際宇宙ステーションとドッキングする 無人補給機「こうのとり」

国際宇宙ステーションに生活物資や、研究用資材などを運ぶためには、ドッキングする際に優れた安全性が要求される。そうした分野で、日本の低コストで信頼性の高い技術が評価されている。

©JAXA/NASA

また、2015年4-6月期 **GDPはマイナスとなりましたが、GDPを押し上げるために、宇宙産業を次世代産業として育て、新たな富を創出することが大切です。** 現在、こうした視点が、安倍首相の“アベノミクス”においても欠けています。

幸福実現党は、航空分野や防衛産業を含めた宇宙産業の開発に、大胆な投資をするべきと考えます。航空機製造の国産化や、日本独自の有人宇宙飛行計画などを進め、産学連携の開発体制を整えていき、航空宇宙事業を次世代産業として大きく成長させ、日本経済全体を底上げしていきます。

宇宙産業開拓を国家プロジェクトとして取り組むならば、将来的にはトヨタ・ホンダのような世界的企業の輩出も夢ではありません。

日本は、宇宙という新たなフロンティアを開発し、“新たな富”を創出するべきなのです。

大胆な投資で、新たな**富**を生み出せ